

請 願 文 書 表

(2 6 年 3 月 定 例 会)

受理番号	受理月日	件 名	請 願 者	紹 介 議 員	要 旨	所管委員会
3	2月24日	原発避難計画に関する 請願	亀岡市本梅町東加舎五の坪 1 1 - 1 西野 千保子 ほか 3 人	湊 泰孝 中村 正孝 藤本 弘 石野 善司 酒井安紀子	<p>(請 願 の 要 旨)</p> <p>1 3 月 末 に 公 表 予 定 の、 関 西 広 域 連 合 に よ る 原 発 事 故 避 難 計 画 で、 亀 岡 市 を 対 象 と し た 避 難 計 画 が 盛 り 込 ま れ な か っ た 場 合、 自 主 的 に、 亀 岡 市 民 を 守 る た め の 政 策 を 作 っ て く だ さ い。</p> <p>2 原 発 災 害 に よ っ て 避 難 が 必 要 に な っ た 時 の た め の、 亀 岡 市 民 の 受 け 入 れ 先 確 保 を ご 検 討 く だ さ い。</p> <p>3 緊 急 時 の 避 難 に お い て は、 放 射 線 の 被 害 を 最 も 受 け や す い と さ れ る 子 ど も や 妊 婦 の 避 難 を 優 先 し て く だ さ い。</p> <p>4 放 射 性 物 質 が 拡 散 し た 際、 放 射 性 ヨ ウ 素 の 体 内 へ の 取 り 込 み を 防 ぐ た め に、 亀 岡 市 に お い て も 各 学 校 や 幼 稚 園 ・ 保 育 園 な ど で ヨ ウ 素 剤 を 備 蓄 し て く だ さ い。</p> <p>5 「 災 害 弱 者 」 で あ る 障 が い の あ る 人 や 高 齢 者、 在 住 外 国 人 へ の 対 応 も ご 検 討 く だ さ い。</p> <p>6 原 発 災 害 時 に、 安 全 な 飲 料 水 の 確 保 の た め、 浄 水 場 を 汚 染 か ら 守 る た め の 対 策 と 共 に、 水 道 水 の 放 射 線 量 を 正 確 に 測 定 し、 公 表 す る こ と を ご 検 討 く だ さ い。</p> <p>7 地 域 や 学 校 で の 日 頃 の 防 災 学 習 の 中 に 原 発 防 災 が 含 ま れ る よ う、 推 進 し て く だ さ い。</p> <p>(請 願 の 理 由)</p> <p>2 0 1 1 年 3 月、 東 北 地 方 太 平 洋 沖 地 震 に よ っ て、 東 京 電 力 福 島 第 一 原 発 は、 人 類 史 上 最 悪 の 原 発 事 故 を 引 き 起 こ し、 汚 染 水 問 題 を 含 め て い ま だ に 収 束 の 見 通 し は 立 っ て い ま せ ン。 今 も、 1 4 万 人 ち か く の 方 が 避 難 生 活 を 強 い ら れ て い ま す。</p> <p>京 都 府 の 原 発 災 害 の 避 難 計 画 に お い て、 亀 岡 市 は 避 難 者 の 受 け 入 れ 先 と さ れ、 避 難 計 画 が 必 要 な 地 域 に は な っ て い ま せ ン。 し か し、 亀 岡 市 は、 原 発 か ら 5 0 ~ 6 0 k m の 風 下 に あ り、 一 部 が 「 居 住 制 限 区 域 」 「 帰 還 困 難 区 域 」</p>	総務文教 常任委員会

				<p>に指定されている福島県飯館村と、極めて似た位置にあり、原発災害が起きた場合、高濃度汚染地域・ホットスポットになる心配があります。</p> <p>兵庫県が昨年4月に実施した汚染予測シュミレーションでは、西隣りの篠山市は、国際機関であるIAEAの安定ヨウ素剤服用基準である50mSvの3倍以上の濃度で汚染される、という結果が出ています。放射能をもたらすプルームが、篠山市とほとんど同じ距離、同じ方向に位置する亀岡市を避けてくれるとは考えられません。</p> <p>最悪の事態になった場合、何の避難計画もなければ、亀岡市民の命は無防備に危険にさらされることとなります。</p> <p>日頃、亀岡市民の安全・安心のため尽力してくださっている亀岡市議会として、市民の不安を払拭するため原発防災について調査研究して頂き、命と健康を守るための避難計画について、考えてくださいますようお願いいたします。</p> <p>地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願書を提出します。</p>	
--	--	--	--	---	--